



下水道事業の概要 について

令和8年2月13日(金)

①下水道の状況

全体計画

項目	内容
将来人口	39,250人
下水道 計画人口	38,957人 (99.2%)
計画区域面積	1616.9ha
計画期間	令和7～32年度

下水道計画区域割合 42.54%

(全体計画区域面積÷行政区域面積)

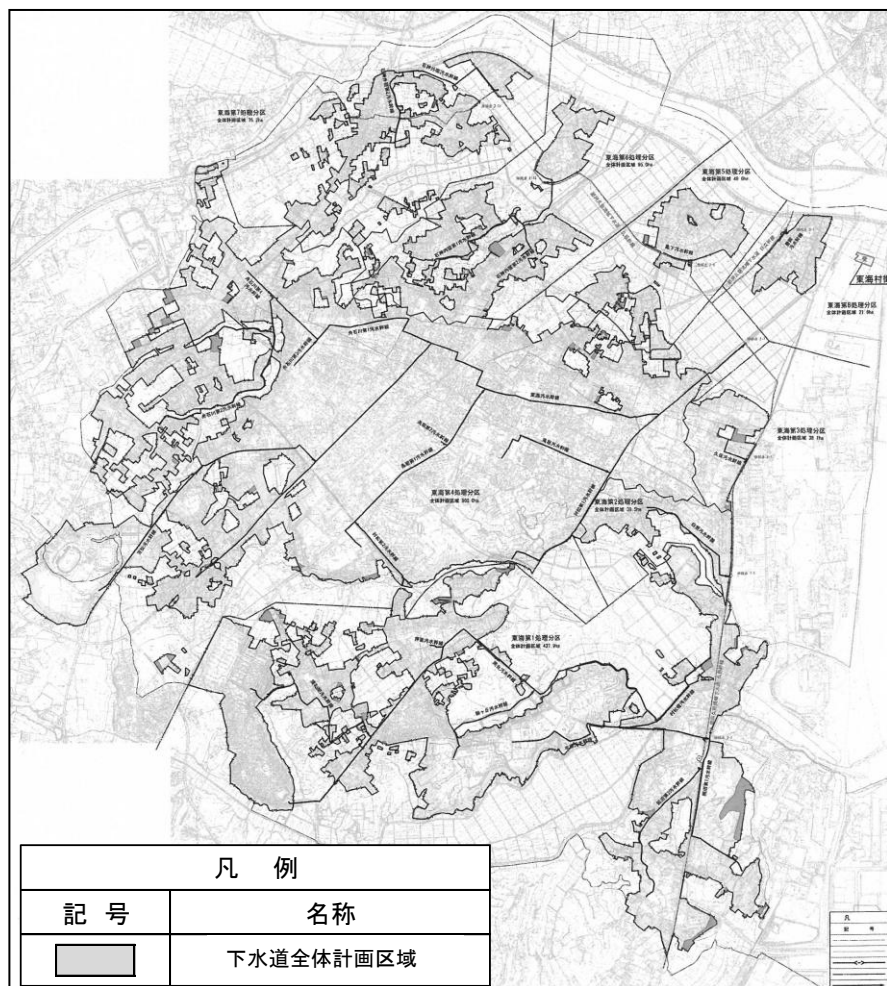
普及率92.4% (処理人口÷行政人口) R6年度時点



②汚水処理の状況

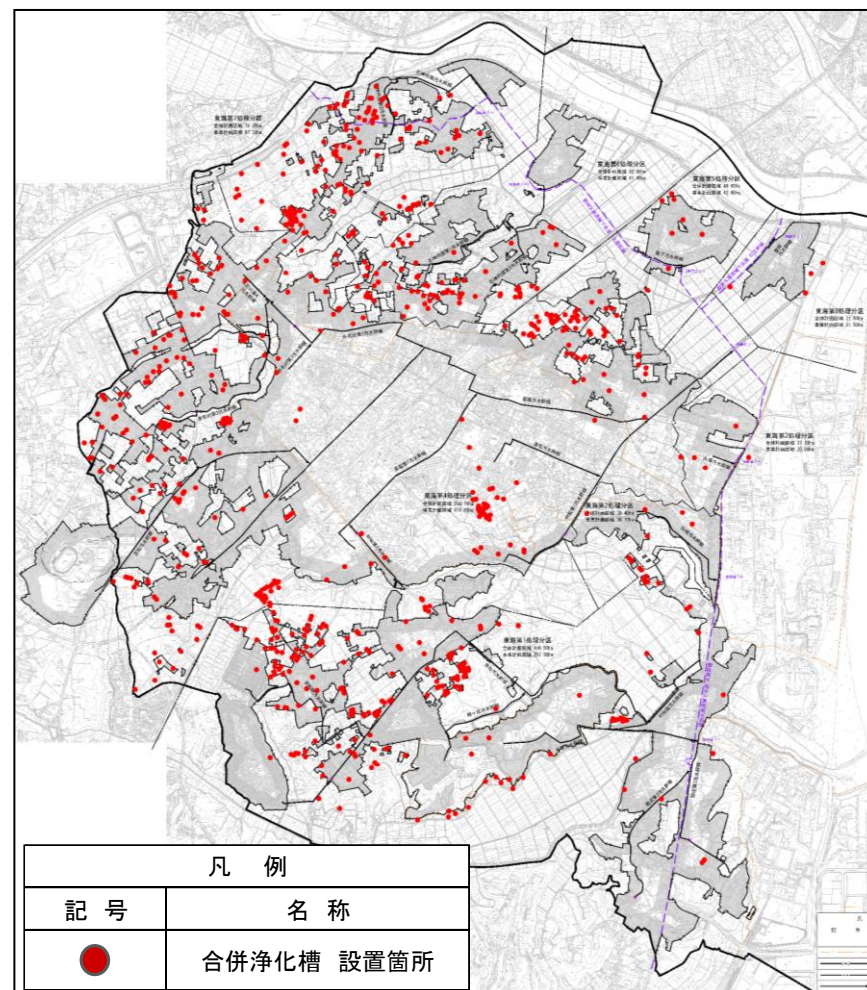
公共下水道

A= 1616.9ha(令和6年度)



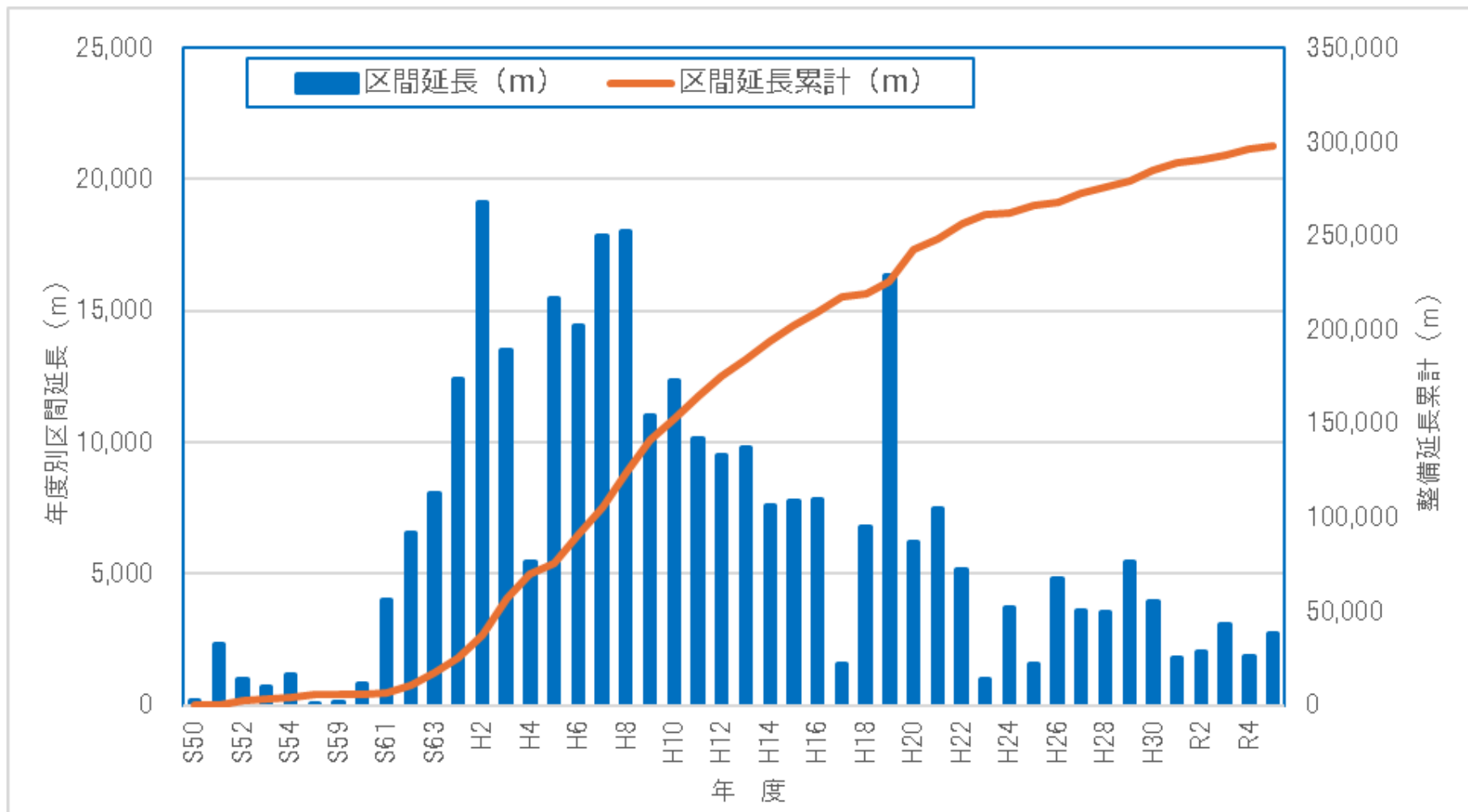
合併浄化槽 設置基数

766箇所(令和6年度末)



③管路整備実績(S58～R5)

■管路整備実績（出典：下水道台帳 総括調書）



④公営企業会計とは

※ 令和6年度下水道事業会計 決算から

《決算》

〔収益的収支〕（維持管理費）
3条予算

〔資本的収支〕（整備費）
4条予算

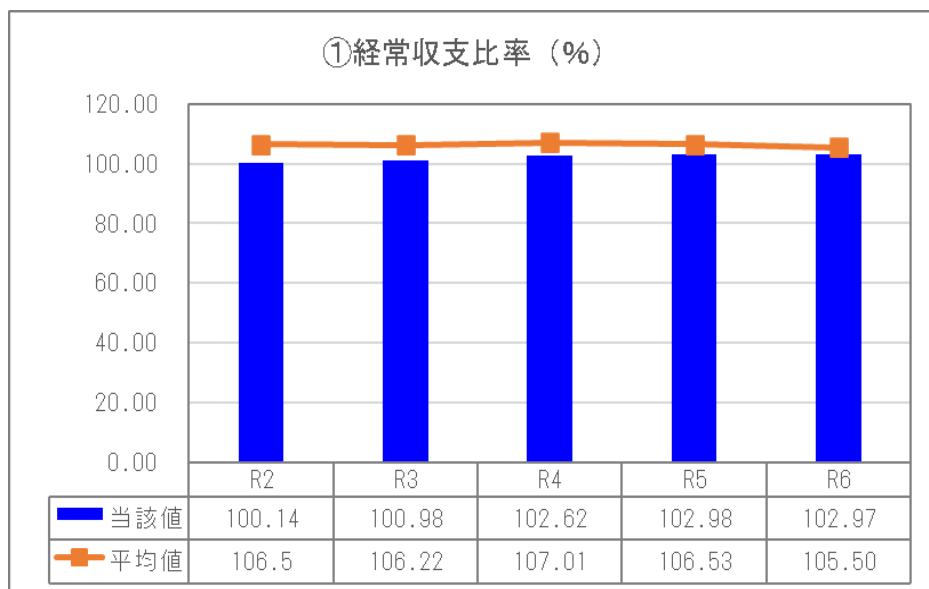
収 入		支 出		収 入		支 出	
・ 下水道使用料	4.6億円	・ 維持管理費	1.9億円	・ 国庫補助金	0.7億円	・ 建設改良費	5.1億円
・ 一般会計繰入金	4.5億円	・ 利子償還費	0.6億円	・ 受益者負担金	0.2億円	・ 元金償還費	3.9億円
・ 長期前受金戻入	3.5億円	・ 減価減却費	6.8億円	・ 地方債	1.5億円	・ 那珂久慈建設負担金	0.1億円
・ その他	346万円	・ 那珂久慈維持管理負担金	2.4億円	・ 一般会計繰入金	2.6億円		
合 計	12.6億円	合 計	11.7億円	合 計	5.0億円	合 計	9.1億円

『収益的収支（維持管理費）』と『資本的収支（整備費）』に区分して経理することにより，経営に係る経費と資産形成の財源が明確になります。

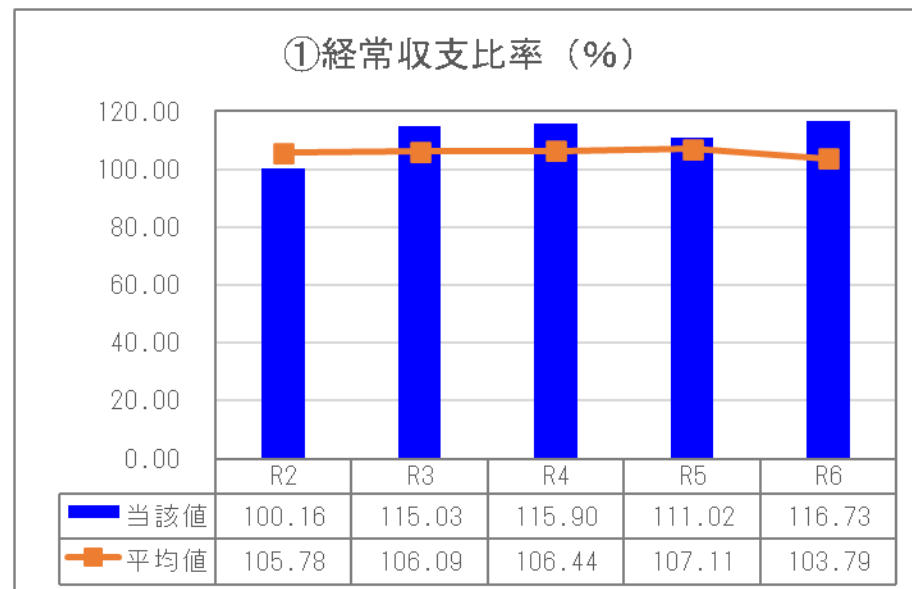
⑤経営分析表(1/2)

■決算統計より

公共（市街化区域の下水を排除する処理区分における事業）



特環（市街化調整区域の下水を排除する処理区分における事業）



経常収支比率は、収支が黒字であることを示す100%以上となっているため、経営は健全であるといえる。

しかし、公共は、類似団体平均値を下回っているため、引き続き接続促進による収益向上と経費削減に努めていく。

グラフ凡例

■ 本村値(当該値)

— 類似団体平均値(平均値)

⑥経営分析表(2/2)

■決算統計より

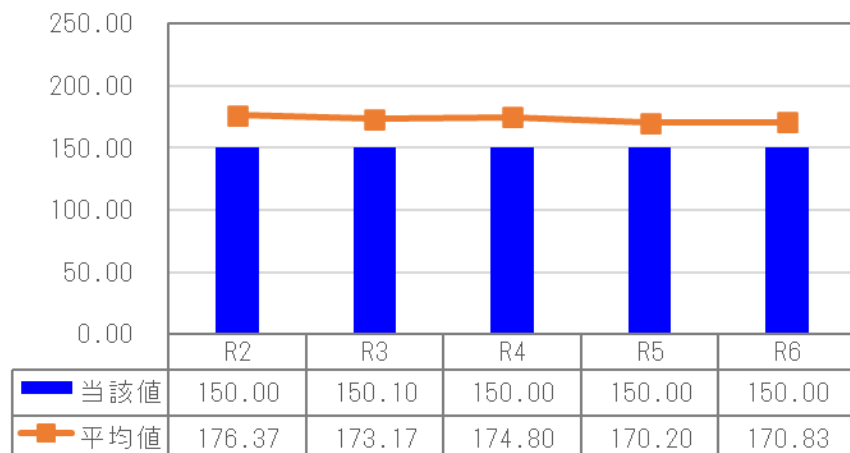
グラフ凡例

■ 本村値(当該値)

— 類似団体平均値(平均値)

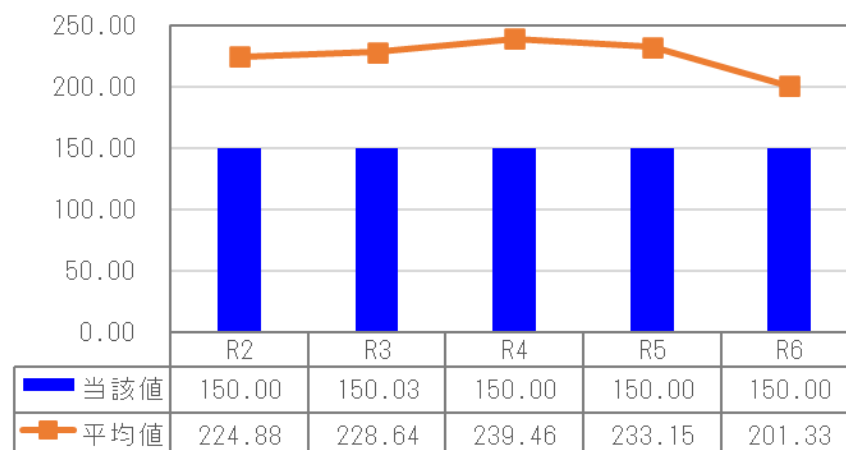
公共

⑥汚水処理原価（円）



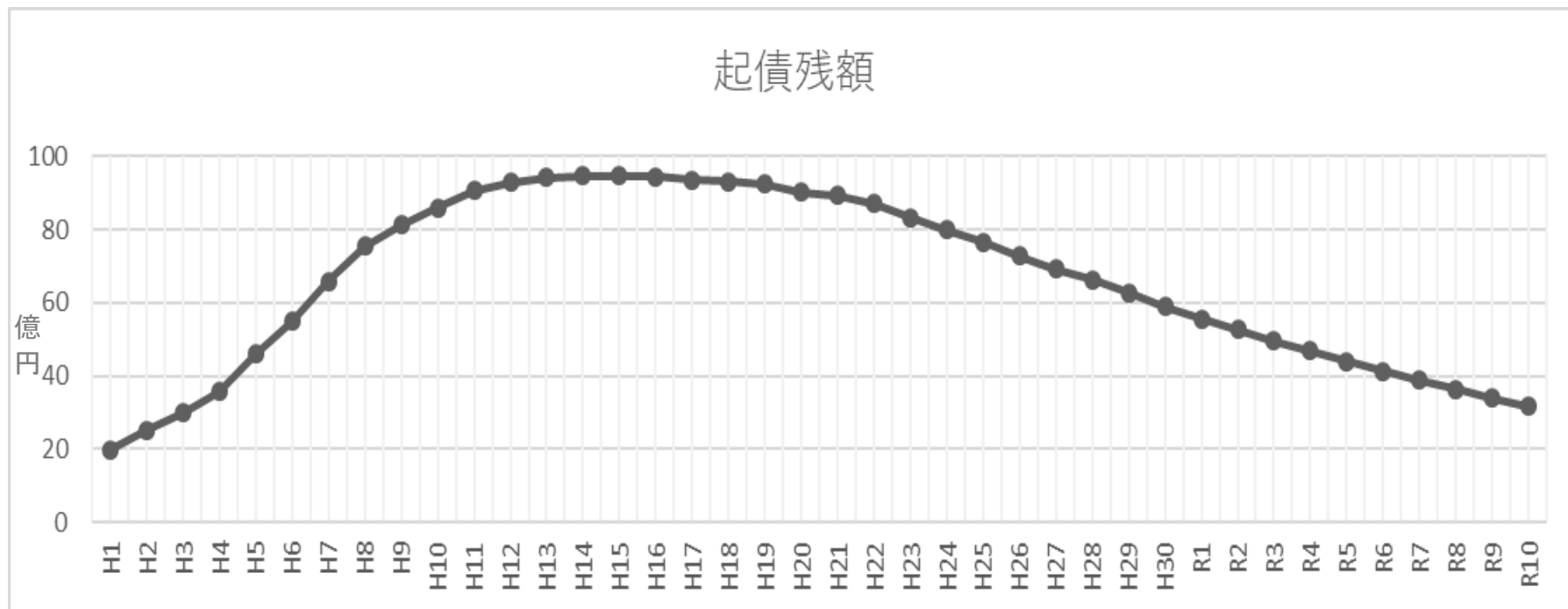
特環

⑥汚水処理原価（円）



汚水処理原価は類似団体平均値より低い数値となっているため、引き続き維持管理費の削減や有収水量の向上に努めていく。

⑦起債の推移



令和6年度 事業予算概要

令和6年度末 企業債残高は42億2,995万円。

最大は平成14年の96億円。

令和10年度には、35億円程度に減少予定。